

平成 29 年度第 2 回クリーンプラザよこて環境保全委員会 議事録

日時：平成 30 年 3 月 19 日（月）午後 2 時～3 時

場所：クリーンプラザよこて 2F 研修室

出席委員

1 番 阿 部 豊
4 番 関 顯 矩
5 番 伊 藤 繁 夫
6 番 鈴 木 成 弘
7 番 照 井 新 一
11 番 阿 部 久 一
12 番 今 雅 平
14 番 笹 山 久 和
16 番 泉 田 金 一
17 番 石 川 冴 子
20 番 太 田 壽 一
21 番 前 田 利 廣
22 番 石 沢 達 雄
23 番 小松田 泰

以上 14 名

欠席委員

2 番 和 賀 一 雄
3 番 高 橋 勝 男
8 番 福 原 繁 浩
9 番 堀 江 由起子
10 番 笹 山 義 夫
13 番 鈴 木 百合子
15 番 渡 邊 万喜子
18 番 田 中 正 博
19 番 塩 田 悦 子

以上 9 名

事務局

佐 藤 均 （市民生活部長）
佐 藤 信 （生活環境課課長）
木 村 任 弘（生活環境課課長代理兼廃棄物対策係長）
高 田 寛 久（生活環境課廃棄物対策係主査）
大 庭 誠 （生活環境課廃棄物対策係副主査）
片 倉 大 吾（生活環境課廃棄物対策係主事）
石 宇 敦 （よこて E サービス）

以上 7 名

（出席者計 21 名）

1、開会（司会者 課長代理）

2、あいさつ

(1)委員長あいさつ

皆さん本日は年度末のお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。

今年度第2回目のクリーンプラザ環境保全委員会という事で、滞りなく終われますよう、よろしくご協力をお願いします。

(2)市民生活部長あいさつ

本日はお忙しい所、天気の良い所、勿体ないなという方もいらっしゃるかもしれません。お集まり、参加いただきまして、誠にありがとうございます。まずもって、今期2年間、環境保全委員を務めていただきまして誠にありがとうございました。

新年度からの委員会につきましては、この後担当よりご説明がございます。

本日は周辺環境調査の結果や、クリーンプラザの運営状況などの説明がありますので、委員の皆様からの忌憚のないご意見をたくさんいただきまして、今後の事業運営の参考とさせていただきたいと思っておりますので、何卒ご活発なご審議をお願いします。本日はどうぞよろしくお祈りします。

ここから関委員長が進行

（過半数委員の出席を確認し、委員会成立を宣言）

3、議事録署名委員の指名

（規則第3条第2項の規定のより、1番 阿部委員、5番 伊藤委員を指名）

4、協議

1)「周辺環境調査の結果について」

（事務局 大庭副主査が資料に沿って説明）

（委員長）

只今事務局から説明ありましたが、この件についてご質問などがありましたらお願いします。

（質疑なし）

2)「クリーンプラザよこて運営状況について」

（事務局 高田主査が資料に沿って説明）

（委員長）

只今事務局から報告がありましたクリーンプラザよこて運営状況について、質問がありましたらお願いします。

(委員)

前から気になっていましたが、水質の結果資料とため池の調査結果を見て、環境基準に検出されない事と書いている項目が全部の表にあります、わずかでもあるという事は、環境基準に問題ないと書いてあるけれども、やっぱり問題ないという事なのかという事と、まるっきり検出されないという事がありうるのかをお伺いしたいと思います。

(事務局)

環境基準としては検出されない事という風になっておりますが、実際の検査数値には数値が出ているという事でしたが、私の方も先にお話すれば良かったのですが、こちらは測定会社さんの方に確認させていただきました。測定数値として、例えば7ページの大屋沼の全シアンの段ですが、こちらでも環境基準が検出されないことという事になっておりますが、測定値は0.01未満という事で謳っておりますが、これは、分析した計値の未満を示している事で、これが測定する数値の最低の数値といたら良いでしょうか。これ以上なら数値は出ますが、これより以下のものは数値が取れないという風になっております。この数値が出ている場合には検出されないことという事と扱いが同じだということで、測定会社さんの方から連絡をうけております。ですので、測定結果としては出ておりますが、この数値が分析の計上値の未満を示しているものですので、環境基準としては測定されないことと同意だという事で、ご理解いただければと思います。

(委員)

もうひとつは、ゼロというのはいり得るのですか。

(事務局)

申しわけございません。ここは測定会社さんの方に改めて確認してみなければ分からないところです。

(委員)

何かによっては自然界にもある可能性もあるから、そういう意味でですが。

(事務局)

検出されない事というところが、ゼロか有りかというところのお話だと思いますが、定量下限値と言われる0.01未満の0.01。それを下回ったのはゼロとみなすという考えかたです。ですので0.00001あったとしてもゼロとみなすという様な法律上の解釈だという風に、私の方では当初伺っております。ですので、全く無いとは言いきれないですが、無いものとしますという考えかたという事ですので、私どもとしても全く無いとは言えないです。あるかもしれませんが、この計量法の解釈では無い物と扱ってよろしいという様な解釈です。

(委員)

分かりました。

(委員長)

それでは、運営状況の方についてご質問あれば出してください。

(委員)

6 ページの 6 月の 1 号炉焼却炉灰搬出装置及び灰乗継コンベヤーモーター交換、モーター容量増加による灰搬送能力の改善とありますが、これは故障したので大きくしたのか、思ったより灰が多く出たのでこういう改善したのか、そのあたりを。

(事務局)

灰の搬出に、施設運営上問題ないレベルですが、何回か止まっていると。何か引っかかったり、止まっているという様な状況が続いて。金物をかみ込んで、スリップを起こすと止まってしまう様な状況が続いておりましたので、それを改善する為に修繕をさせていただいているという事です。

(委員)

わかりました。

(委員長)

運営状況についてはこれで終了いたします。

3) 「市道堤美砂古線大堤交差点改良工事について」

(事務局 木村課長代理が説明)

先立ちまして、前回 11 月の会議の際にこの交差点を含んだ堤美砂古線の改良工事は、災害復旧工事がたくさん入っていて予定がつかないという風に申し上げておりましたが、私どもの確認の漏れで、実際は 10 月 23 日に契約をしておりました。

間違った情報をお伝えしまして申し訳ございませんでした。

それで、今年度から来年度にかけて、この工事を行うという風に建設課の方から情報をいただいたので、説明いたします。

(資料に沿って説明)

(委員長)

今の美砂古線の改良工事について何かご質疑ありましたら、これ以外にも結構ですのでお願いします。

ようやくここまで来たという感じですね。

栄地区の基礎工事もほとんど今年度から無いという事なので。

(委員)

この頃、信号の間隔だいぶ変わったようですね。混まなくなったというか。

(委員長)

40 秒位に長くなったそうですね。

(委員)

でも線路側からは相変わらず、中野団地の方に入る所まで、しょっちゅうというか、たまにあります。

(委員)

ここで皆でお話した成果が出たと思っております。

(委員長)

安全協会の方からも要望していましたし、両方でやった結果じゃないかと。

(委員)

最後の 13 号線道路の拡幅予定具体的な情報が無いという事ですが、全く何も話も通っていない、どこで止まっているのかという所も分からないのでしょうか。

市長までは一応あげましたが、市長さんが何処まで話をしているのか。受け入れてもらっているのか。平鹿地区はそろそろ終わりだと思いますが。そこをいろいろ担当してやってきた議員さんに聞いたら、次は大屋か金沢のどちらかだと言っていましたよ。という話がありましたので、それでなんとか栄地区優先してもらいたいなと思って。市民会議を通してやりましたけども、こちらからも一応聞いていると思いますが、何もないという事はあんまりだなと思って。その辺の状況を何とか深く追求して、どこまでいっているとか、少しでも進展があるような情報が欲しいなと思いますが、よろしくお願いします。道路拡幅しないと、怖くて走れない。特に栄小学校の交差点、この間も事故がありました。たまたま大きい事故が最近ない位で、柳田駅から出てきて 13 号線に出るとなると、非常に怖いです。カーブミラーを見ながら、どこまで来てるかなという感覚で行きますが、私の場合は、もしかしたら追突されるのではないかという思いをしながら、走りますけど。あそこをやっぱり早く事故が起きないうちに何とかしてもらいたいというところですね。環境とはあまり関係ないですが。

(委員長)

地域会議の方でまた出ると思っております。

(委員)

全然関係ない話かもしれないけども、空気中に飛ぶものと、地面に吸い込まれるものというのが両方とも資料に載っていますが、例えば PCB ってありますよね。あれは、沼の方にはいっていますけども、実際浮遊はしないものですか。

(事務局)

PCBは常温常圧で油状のものになっております。非常に物質同士の安定度が高くて、なおかつ使用されているのがほぼ、密閉容器になっています。密閉容器が破裂して拡散する可能性が無いとはいえないのですが、取り扱いが非常に厳しいものですし、しかも製造されていたのが結構前までということで、今現在空気中のPCBを測定しても、それこそ定量下限値を超えるような数値は得られないのではないかなと思っております。PCBの高濃度に関して、平成35年度まで北海道に送って処分しなければだめという事になっていますので、取り扱いが非常に厳格です。今現在日本の国に限ってですが、自然界に人体に影響の出るようなものが放出されているとは考えにくいという風に考えているところです。

(委員)

例えば、処理が間に合ってなくて、嚴重で分かるにしても保管しているところも結構あるらしいですね。その場合例えば、容器が破損して油が漏れてしまった場合、その油を拭いて、普通の油と同じ感覚で燃えるごみに投げたらどうなるのかという心配があったものですから。ありえますよね。

(事務局)

ありえるとは思っています。PCBに限らず。全てが無いと言えないのが環境です。我々はそういった意味では、出来る限りの対策をしています。一般的に調べる範囲というのが、新しい物質ですとか、特定特管物で基本的には漏えいしない前提というのはこの中には出てこないの、言われると、心配はありますがというところでしか今のところは言えないです。

(委員)

例えば蛍光灯が割れてしまって、どのごみに投げれば良いか分からないというのが一般の人の普通の考え方だと思いますが。一生懸命調べて分別して分けたとしても、きちんと100%分けられないので、どうしても可燃ごみの中に含まれてしまうと思います。カウントする機械が止まったのも、本来であれば含まれている金属が引っかかったから止まったという事だと思うので、だから確かに調べていただいているのは分かりますが、地球に存在するすべての物質を調べる事は不可能でしょうから、何か大気中にあればみんな防塵マスクしているわけではないので、自然に吸ってしまうわけです。排気の方を、もっともっと細かい調べ方してもらった方が安心はできるのかなと思いました。

(事務局)

前回も話ありましたが、水銀に関しては法律上のしぼりが出来ましたので、それは間違いなく年4回やらせてもらいます。そういったつぶし方でしか出来ていないような現状です。

(委員)

29年度第1回のクリーンプラザ保全委員会の時に、私は狭い範囲で高速のボックスの大体500

メートル位の中で、要望を 2、3 出してあります。それについてはまだ回答しておりませんか。

(事務局)

阿部さんと一緒に現場を確認させていただきました。

まず、高速の側道から柳田 1 号線ですか、そこへ入る車両用のカーブミラーの件、それとカーブミラーを置いたら良さそうな場所にあるガードパイプの破損、それと草刈りですね。

あの後、地域課の方に寄らせてもらって、こういう要望があるという事でお話はしてきました。着手に関しては、当時これから雪降る時期だったので、雪解け後、来年度になってから考えます。という事でしたが、また春に要望しに行きますので、草刈りは別として、残りの 2 つの内、ガードパイプ壊れているのは直してというのと、鏡を付けてもらう事は強く要望して参ります。

(委員)

よろしくをお願いします。

ただ草刈りはそういう所の許可無くても適期にやってもらえれば、田んぼの人方も助かると思っています。

(委員長)

それは町内会単位で出す要望書にも載っていないですか。そっちも載せた方が良いと思います。比較的一方通行じゃなくて両方からやると、うまくいく例も多々ありますので。

その他ありませんか。

(委員)

去年から、やってはいただいていた要望だったのですが、その頃の歩道の除雪、今回の冬は特別無かったですが、ひとつだけ危ないと思ったのがあります。線路の歩道の除雪した後、線路の所を除雪せずに、一回車道に出て、もう一回歩道に入ってくるんです。そうすると、子供達もその通り歩くしかなくて、子供達車道に出でしまうんですよ。これは危ないのではないかなと。あそこはよく凍結して、スリップ事故が起きる踏切なので、歩道と車道の間には結局雪の壁ができるのですが、少なくともあそこら辺の二、三十メートル位は雪の壁常にとってもらわないと。子供が歩いていると確認して運転手が見通してくれれば良いんじゃないかなと。もし突っ込んで雪の壁の裏に人がいたら、またこれでひとつ事故が大きくなってしまいますので。何であれ線路の上除雪しないんですかね。

(委員長)

しないね。してはだめなの。あれは JR で人力でやっている。市の除雪機は乗せられないって。

(委員)

やられないのは分かるけども、なんとかならないですかね。

(事務局)

なんともならないですね。

(委員)

線路を管理している人方がやりに来るんでしょ。

(委員)

それはだいぶ遅くなってからやるから、通学時間帯が終わってからですよ。

(委員)

なんともならないと言われると、もし事故が起こったら誰に責任取らせるのか。

(委員)

今は通学の時間帯終わってから踏切の凍結したところの除雪しているのか。

(委員)

どこか一社業者さんが来てやっているの、おそらく順番に一日に一つのグループが何か所もやっていると。あそこの踏切に関しては通学時間帯が終わってから来ているというのが現状ですね。

(委員長)

地域会議の方からの要望書に上げた方が良いでしょう。

(事務局)

私共の方からは、通学路だとすれば、教育委員会を通じて JR 側の方に要請したいと思います。

(委員)

教育委員会といえば、ちょうど向こうの所の歩道を直していただいて、ありがとうございました。以上です。

(委員長)

他に何かありませんか。

5、その他

(委員長)

事務局より何かございますか。

(事務局 高田主査が次期委員改選に向けた方針の説明)

(委員長)

委員の方から何かご質問ありますか。

(委員)

資料1の10ページと11ページのダイオキシン類というところですが、今よく見て思ったんですが、グラムあたりとリットルあたりで単位が違いますよね。どれが妥当なのか分からないですが、11ページの環境基準が1,000以下というのは間違いないですよ。

(事務局)

問題は無いんですが、単位が水の方がリットル、土の方がグラムという事で、グラムは水に換算すると、千分の一という恰好になるので。水より土の方がかなり元々少ない。これを例えばキロにすると、更にゼロ三つ後ろに下がると。私共が決めた訳じゃなくて、調べる際の約束事になっていますので。

(委員)

ありがとうございます。

(委員長)

その他最後何かございますか。

(委員)

先程の説明ですが、環境美化委員が各町内会におる人方もこのメンバーの中に増やすという事ですか。

(事務局)

増やすという事ではなくて、地域づくり協議会の委員として出てきている方の代わりに環境美化推進員の方に各地区から1名ずつ出いただくという事です。来年度以降も地域づくり協議会があるのであれば、そのまま継続してお願いしますと言いたいのが正直な気持ちではあったのですが。そのものが見直しされてしまいますので、そのようにご報告させていただきました。

(委員)

クリーンプラザ環境保全委員会という名前そのものが変わるという事ですか。

(委員長)

俗にいう環美連の組織の中から地域の代表を一人ずつ選んでいくという事です。

(事務局)

クリーンプラザよこて環境保全委員会というのは名前も変わらず、設置の条例で謳われています。

すので、それは絶対無くす事はできません。ただ、その委員の中で、周辺地域の代表の方、あとは環境に知見を有する方、あとは各地域、要するに旧町村単位で、各地域の代表の方から構成しなさい、という風になっています。各地域の代表の方は今までは、地域づくり協議会の方から選任をしていただいて、出席いただいておりますが地域づくり協議会が無くなるということで、30年以降、俗にいう環美連、今の所その組織があるのは横手だけなのですが、委員としては各地域にいらっしゃいますので、その中から更に推薦をいただいて選任するという様な恰好にしたいという事です。

(委員)

分かりました。

(委員長)

その他ございますか。

無いようなので、会議を終了したいと思います。

6、閉会

(委員長)

本日はお忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございました。

閉会いたします。

平成 年 月 日

議事録署名委員
